

学校法人中村産業学園
令和4年度事業計画書

Index

A 教育

1. アドミッション・ポリシーに沿った優秀な学生の獲得	1 ページ
2. 実践力を育成する教育プログラムの推進	
3. 新時代に対応した教育プログラムの開発	2 ページ
4. 学年暦の柔軟化	
5. 教学マネジメントの確立	3 ページ
6. 学生の満足度を向上させる支援の実施	
7. ポストコロナ時代へ対応した支援の実施	4 ページ
8. 高等教育機関としての学び直しの推進	

B 研究

1. 文理芸を融合した学際的研究の推進	5 ページ
2. 研究実績の拡大	
3. 産業界と連携した研究の推進	
4. 優秀な大学院生の獲得	6 ページ
5. 大学院の改革	

C 国際化

1. 国際感覚を養うプログラムの展開	
2. 学生の海外経験の増加及び留学支援体制の強化	7 ページ
3. 優秀な留学生の獲得及び支援の強化	
4. 海外大学・組織等との連携の強化	8 ページ
5. 国際化を推進する体制の整備	

D 産学連携

1. 社会性の高い研究の促進	8 ページ
2. 産学官連携を強化するネットワークの構築	
3. 大学発ベンチャーの育成	9 ページ

E 社会・地域貢献

1. 地域社会の課題解決に向けた貢献活動の推進	9 ページ
2. 本学の施設を活用した地域との交流	
3. 地域に向けた知の発信	10 ページ

F ダイバーシティ

1. 男女共同参画社会を担う学生の育成	
2. 多様な学生への支援	10 ページ
3. 多様な教職員の参画機会拡大	

G ブランディング

1. 本学ならではのイメージ構築 （「もっと意外に。もっと自由に。」）	11 ページ
2. 産業界や地域への広報・広聴機能の 拡充	

H 経営基盤

1. 継続的な組織改革	11 ページ
2. IR 機能の強化	12 ページ
3. ガバナンスの強化	
4. 教員組織の充実	
5. 同窓会・卒業生との関係強化	
6. 財政基盤の一層の強化	
7. 業務改革・効率化	13 ページ
8. 事務職員の能力開発	
9. 将来を見据えたキャンパス整備	

A 教育分野

1. 2025年度までの目標 アドミッション・ポリシーに沿った優秀な学生の獲得

1. アクションプラン 学力の高い志願者の獲得強化(偏差値等の向上)

- ・理工学部広報のためのミニオープンキャンパスの開催
- ・理工学部ホームページやSNSによる学部情報の発信
- ・生命科学部の魅力を伝える広報活動の強化
- ・子ども教育学部広報のためのプチオープンキャンパスの開催
- ・志願者の更なる獲得強化に向けた施策

2. アクションプラン 各地域の進学者実数に占める本学占有率の確保

- ・芸術学部入学定員300名以上確保並びに進学校等学力の高い志願者獲得のための学生募集ツール等の作成・配布・配信
- ・学生募集用データベースの開発・運用
- ・学生募集に係る入試広報(Web媒体・冊子媒体)の強化策
- ・高校訪問スタッフ研修プログラムの実施

3. アクションプラン 選抜方法の見直し(多面的・総合的な評価の導入)

- ・建築都市工学部全国高等学校プロジェクトコンテスト事業
- ・総合型選抜・学校推薦型選抜用eラーニング及びポストコロナに対応したCBT機能付きeラーニングの開発
- ・入試改革推進事業

4. アクションプラン 入試種別(一般入試・総合型選抜等)の見直し

- ・新学習指導要領に対応した入試問題の作成

5. アクションプラン 高大接続教育の拡充(探求学習の支援を通じた連携、ICTを活用した連携等)

- ・芸術学部中高大連携事業(本学主催デッサン講習会・サマースクール、佐賀高文連共催佐賀県美術実技講習会、佐賀県高文連主催「波戸岬研修講座」、高知県高文連主催高知県美術実技講習会「アートこうち」、宮崎県高文連主催宮崎県美術実技講習会)
- ・入学前教育の実施及びICTの活用による高大接続教育の推進

6. アクションプラン 付属高校との連携の強化

- ・高大連携事業を通じた大学理解の促進

2. 2025年度までの目標 実践力を育成する教育プログラムの推進

7. アクションプラン 産業界との連携によるプロジェクト型教育の推進(オープンイノベーションセンターの活用等)

- ・大学発ベンチャーの育成

8. アクションプラン プロジェクト型教育の質の向上及び拡大(単位認定化・外部公開等の実施)

- ・学生および近隣住民から好まれる食育の研究開発と事業への展開
- ・カリキュラム改訂事業
- ・芸術学部卒業制作展・芸術研究科修了制作展
- ・Photographic Art Exhibition -新しい写真表現への挑戦 11-
- ・建学の理念「実践的な学風の確立」を実現するための、プロジェクト型教育の推進

9. アクションプラン 外部の実務家を講師に招いた授業の拡大

- ・教育用教材としての建築設計支援 CAD ソフトの拡充
- ・デジタル製図技術修得支援事業
- ・KSU基盤教育の再構築と新時代に即した教育プログラムの開発

10. アクションプラン SDGs 関連教育の拡充

- ・質の高い保育者および特別支援学校教員の養成：養成課程とボランティアなどの学外活動との学びの往還
- ・卒業制作展の実施
- ・学修支援事業の推進
- ・KSU基盤教育の再構築と新時代に即した教育プログラムの開発

3. 2025 年度までの目標 新時代に対応した教育プログラムの開発

11. アクションプラン 学部再編後の検証及び見直し(新たな教育分野の開拓等)

- ・AI、データサイエンスなど新技術と、アフターコロナの社会経済に対応した教育プログラム構築
- ・クォーター制を見据えた組織再編
- ・学部再編後の検証及び見直し

12. アクションプラン KSU基盤教育の再構築

- ・KSU基盤教育の再構築と新時代に即した教育プログラムの開発
- ・KSU 基盤教育に基づいたプログラムの再構築
- ・基礎学力（国語・数学）の向上を促進する教育プログラムの実施

13. アクションプラン 文理芸が融合した学部横断型教育プログラムの構築

- ・文理芸融合の「グローバル・フード・ビジネス・プログラム」（仮称）の設置
- ・学部間連携テクノアートプロジェクト
- ・KSU基盤教育の再構築と新時代に即した教育プログラムの開発

14. アクションプラン 学部横断型トップアッププログラム(GLP等)の拡充

- ・新時代に対応した魅力ある教育プログラムの構築
- ・多様な教育プログラムの開発（学内での連携）

15. アクションプラン 副専攻プログラムの導入

- ・新時代に対応した魅力ある教育プログラムの構築
- ・多様な教育プログラムの開発（学内での連携）

16. アクションプラン 複数分野専攻制の導入に向けた検討(マルチプル・ディグリー制度等)

- ・多様な教育プログラムの開発（学内での連携）

17. アクションプラン 理工系分野(数理・データサイエンス・AI等)の教育研究組織の新設に向けた検討

- ・新時代に対応した魅力ある教育プログラムの構築

18. アクションプラン 多様な教育プログラムを体験する「大学間連携」の強化

- ・多様な教育プログラムの開発（学外との連携）

4. 2025 年度までの目標 学年暦の柔軟化

19. アクションプラン クォーター制の導入に向けた検討

- ・クォーター制の導入に向けた検討

5. 2025年度までの目標 教学マネジメントの確立

20. アクションプラン 内部質保証システムの確立

- ・経済学部・学部教育と内部質保証リンクプログラム
- ・内部質保証システムの着実な履行

21. アクションプラン 3つのポリシーの確立及び見直し

- ・3つのポリシーの確立・見直しに基づく学修成果把握と可視化による「学びの質保証」及びPDCAサイクルの確立

22. アクションプラン ディプロマ・ポリシーに基づく体系的な教育課程の編成(見直し)及び実施

- ・3つのポリシーの確立・見直しに基づく学修成果把握と可視化による「学びの質保証」及びPDCAサイクルの確立

23. アクションプラン 学修成果の把握及び可視化(ルーブリック等)

- ・3つのポリシーの確立・見直しに基づく学修成果把握と可視化による「学びの質保証」及びPDCAサイクルの確立

24. アクションプラン 学修成果及び教育成果の公表

- ・3つのポリシーの確立・見直しに基づく学修成果把握と可視化による「学びの質保証」及びPDCAサイクルの確立

25. アクションプラン 教育改善活動としてのFD・SDの実施

- ・日本技術者教育認定制度に対応した教育システムの継続的改善事業(理工学部)
- ・日本技術者教育認定制度に対応した教育システムの継続的改善事業(建築都市工学部)
- ・教学マネジメントを支える基盤の整備
- ・FD活動の推進

26. アクションプラン 教学IR体制の整備及び人材の育成

- ・教学マネジメントを支えるIR体制の整備及びIR活動の推進

6. 2025年度までの目標 学生の満足度を向上させる支援の実施

27. アクションプラン 学生の学びの支援体制の充実(TA・SA・LA等の学生修学サポートスタッフの適切な配置)

- ・経済学部トップアップ政策
- ・学生の教育環境の充実
- ・学生の教育環境の維持
- ・教育研究装置の維持
- ・一貫した学生支援体制の構築
- ・図書館ホームページのリニューアル(電子資料への対応等)
- ・機器備品整備及び利用支援の充実

28. アクションプラン 除籍・退学・卒業延期者の削減に向けた修学支援の充実

- ・理工学部基礎教育サポートセンターの充実
- ・一貫した学生支援体制の構築

29. アクションプラン 給付型奨学金の再構築

- ・給付型奨学金制度の再構築

30. アクションプラン 課外活動のさらなる活性化

- ・強化指定サークルの支援体制の充実を踏まえたサークル活動のさらなる活性化
- ・一般サークルを中心とした課外活動支援の拡充におけるサークル活動の活性化
- ・陸上競技場内人工芝の張り替え工事

31. アクションプラン 魅力的な学食・福利厚生施設の整備及び運用

- ・学食及び大学寮の厨房機器の充実
- ・学生食堂等の学生アンケート調査結果に基づく改善の推進
- ・学生食堂「クラブハウス」の全面リニューアル

32. アクションプラン 正課及び正課外の接続による専門資格取得に向けた支援

- ・公務員志望者支援事業
- ・旅行関連資格取得支援事業
- ・第一種・第二種電気工事士資格取得支援
- ・デジタルアトリエにおける学修システムの更改
- ・教員免許取得、教員採用試験合格に向けた支援体制の構築

33. アクションプラン 学部・研究科の専門性を活かした資格取得支援

- ・教員等採用試験サポートプログラム
- ・KSCP-90（公認心理師・臨床心理士資格取得支援）

34. アクションプラン キャリア教育の充実(インターンシップ、職業意識の醸成)

- ・ビジネス・インターンシップ推進事業
- ・長期観光インターンシップ実施支援事業
- ・戦略的な就職支援事業
- ・インターンシップ、資格取得等就職意識の醸成

35. アクションプラン 学部と一体となった就職活動支援

- ・学部連携キャリア支援と就職活動支援

36. アクションプラン 学外との連携によるキャリア支援の拡充(卒業生、企業等外部機関)

- ・就職先企業の開拓と就職活動支援
- ・多目的高分解能走査電子顕微鏡システム

7. 2025年度までの目標 ポストコロナ時代へ対応した支援の実施

37. アクションプラン ICTを活用した教育のさらなる推進(対面とオンラインによる複合型授業)

- ・ライブXRスタジオ(旧バーチャルスタジオ-17号館1階-)
- ・ICTスポーツ教育・研究促進プロジェクト
- ・一貫した学生支援体制の構築
- ・3大基幹システムを活用した情報化推進及び基盤整備事業

38. アクションプラン 一貫した学生支援体制の充実(修学支援、学生生活支援、キャリア支援)

- ・一貫した学生支援体制の構築

8. 2025年度までの目標 高等教育機関としての学び直しの推進

39. アクションプラン 社会のニーズに対応するリカレント教育の導入(相談窓口の明確化を含む)

- ・リカレント教育の充実

B 研究分野

1. 2025年度までの目標 文理芸を融合した学際的研究の推進

1. アクションプラン Society5.0の実現に向けた特色ある研究の推進

- ・学部統一研究テーマに基づく研究の推進
- ・文理芸を融合した学際的研究の推進

2. アクションプラン 柿右衛門研究の世界的研究拠点の形成

- ・柿右衛門研究の世界的研究拠点形成及び伝統産業活性化推進事業

3. アクションプラン 共同研究プロジェクトの推進

- ・6次産業品の機能性表示食品の取得支援並びに製品開発とそのマーケティング
- ・文理芸を融合した学際的研究の推進
- ・共同研究プロジェクトの実施

2. 2025年度までの目標 研究実績の拡大

4. アクションプラン 研究発表機会の拡大

- ・6次産業品の機能性表示食品の取得支援並びに製品開発とそのマーケティング
- ・大学院における研究活動の活性化および成果公表の促進
- ・2022 KSU 語学教育研究フォーラム / KSU Language Education and Research Center Symposium (LERCS) 2022
- ・研究業績の拡大

5. アクションプラン 研究業績の多言語化

- ・研究活動支援としての学術資料充実による機関リポジトリコンテンツ拡充
- ・研究業績の拡大

6. アクションプラン 査読付き論文の増加に向けた支援

- ・遺伝子ゲノム研究支援事業
- ・研究業績の拡大

7. アクションプラン 知的財産の創出及び活用のための支援体制の強化

- ・研究業績の拡大

8. アクションプラン 教育及び研究の接続強化を目的とした教育・研究支援体制の整備

- ・商学部専任教員の軽減方法と、商学部の特徴ある研究のあり方の検討
- ・研究活動支援としての学術資料充実による機関リポジトリコンテンツ拡充
- ・図書館システムによる産業経営研究所所蔵資料のデータ化（図書館一元管理）
- ・研究業績の拡大
- ・図書館システムによる産業経営研究所所蔵資料のデータ化（図書館一元管理）

9. アクションプラン 研究時間の創出(事務負担の軽減)

- ・商学部専任教員の軽減方法と、商学部の特徴ある研究のあり方の検討
- ・各種委員会等の統廃合による運営体制のスリム化及び教員の研究時間の創出

10. アクションプラン 研究倫理及び研究コンプライアンスの徹底

- ・研究倫理及び研究コンプライアンスの徹底

3. 2025年度までの目標 産業界と連携した研究の推進

11. アクションプラン 受託研究・共同研究の増加

- ・研究成果の社会実装促進事業
- ・産業界と連携した研究の推進

12. アクションプラン 外部資金の積極的獲得

- ・産業界と連携した研究の推進

4. 2025年度までの目標 優秀な大学院生の獲得

13. アクションプラン 内部進学者数の増加

- ・経済・ビジネス研究科 経済学専攻 地域共創分野の設置
- ・内部進学者数の増加
- ・探究心のある内部進学者の増加
- ・研究室単位での受け入れ状況改善
- ・大学院の改革
- ・大学院の認知度アップによる多様で優秀な大学院生の獲得

14. アクションプラン 多様な院生(社会人、留学生)の獲得

- ・大学院の改革
- ・大学院の認知度アップによる多様で優秀な大学院生の獲得

15. アクションプラン 大学院の認知度アップと魅力の訴求

- ・大学院生獲得推進事業
- ・芸術研究科 Web サイトのリニューアル
- ・特色のある大学院研究の推進
- ・大学院の認知度アップによる多様で優秀な大学院生の獲得

16. アクションプラン 大学院生向けの就職支援体制の強化

- ・大学院生の就職支援の強化

5. 2025年度までの目標 大学院の改革

17. アクションプラン 大学院の入学定員の適正化

- ・入学定員の適正化と組織の活性化
- ・大学院の改革

18. アクションプラン 理工系学部との接続の強化(学部+修士の6年間でのカリキュラム整備)

- ・大学院の改革

19. アクションプラン 基礎となる学部との連携の強化

- ・大学院の改革

C 国際化分野

1. 2025年度までの目標 国際感覚を養うプログラムの展開

1. アクションプラン グローバル・リーダーシップ・プログラムの拡充

- ・グローバル・リーダーシップ・プログラムの拡充

2. アクションプラン 国連ハビタットとの連携強化による人材の育成

- ・国連ハビタットとの連携強化による人材の育成

3. アクションプラン 国際共同学位プログラムの検討

- ・多様な教育プログラムの開発（学外との連携）
- ・KSU-COIL型教育の推進

2. 2025年度までの目標 学生の海外経験の増加及び留学支援体制の強化

4. アクションプラン 海外渡航プログラム制度の拡充(チャレンジマンズの活用)

- ・低学年次からのキャリア教育および実践教育(国内、国外工場見学・研修)
- ・全員海外体験プログラム
- ・KSU海外経験プログラムの拡充及び支援の充実

5. アクションプラン 海外語学留学や海外インターンシップの拡充

- ・アジアビジネス研修（中国）の開講
- ・日本語教員養成課程海外教育実習
- ・語学力（英語）の上位層を対象としたトップアッププログラムの実施

6. アクションプラン 留学支援奨学金制度の充実

- ・KSU海外経験プログラムの拡充及び支援の充実

7. アクションプラン 語学力向上のための支援の充実(語学資格取得に向けた支援等)

- ・グローバル人材育成のための英語力強化プログラム
- ・語学力向上を目指した資格取得支援の推進
- ・オンライン語学学習のプログラム提供

3. 2025年度までの目標 優秀な留学生の獲得及び支援の強化

8. アクションプラン 海外の高校(日本語専攻)への募集活動の実施

- ・ポストコロナにおける学力の高い外国人留学生の獲得
- ・質の高い留学生の確保及び向学心を醸成する新たな経済支援制度

9. アクションプラン 外国人留学生の九州エリア企業へのインターンシップ及び就職の拡大

- ・外国人留学生の九州エリア企業へのインターンシップ及び就職の拡大

10. アクションプラン 日本語能力向上のための教育カリキュラムの見直し

- ・外国人留学生の日本語能力向上のための支援

4. 2025年度までの目標 海外大学・組織等との連携の強化

11. アクションプラン 海外協定校の拡充と連携の強化

- ・海外協定校(連携強化)の拡充及び教員相互交流の推進

12. アクションプラン 海外の博物館や美術館との連携の強化

- ・海外の博物館等との連携の強化

13. アクションプラン 同窓会楠風会海外地方本部・支部(台湾・韓国・上海等)や日本で働く卒業生(留学生)との連携の強化

- ・同窓会楠風会海外地方本部・支部(台湾、韓国、上海等)や日本で働く卒業生(留学生)との連携強化

5. 2025年度までの目標 国際化を推進する体制の整備

14. アクションプラン 海外大学との教員相互交流、招聘の推進

- ・海外協定校(連携強化)の拡充及び教員相互交流の推進

15. アクションプラン 教職員の国際化対応能力の向上(事務職員の海外経験機会の創出)

- ・事務職員の国際化対応能力の向上

16. アクションプラン 英語による授業展開の推進

- ・多様な教育プログラムの開発(学内での連携)

17. アクションプラン 国際化に伴う危機管理体制の強化

- ・安全保障輸出管理の厳格な実施

D 産学連携分野

1. 2025年度までの目標 社会性の高い研究の促進

1. アクションプラン 産学共同研究の拡充(URAの活用促進、発信力強化)

- ・6次産業品の機能性表示食品の取得支援並びに製品開発とそのマーケティング
- ・社会性の高い研究の促進

2. アクションプラン SDGsに関連する共同研究の実施

- ・社会性の高い研究の促進

2. 2025年度までの目標 産学官連携を強化するネットワークの構築

3. アクションプラン アドバイザリーボードによる産業界との連携強化

- ・アドバイザリーボードの活用

4. アクションプラン 産学連携センターの設置

- ・産学官連携を強化するネットワークの構築

5. アクションプラン 地域企業及び自治体との連携強化(九州以外のエリアも含めた企業連携等)

- ・産学官の連携による地域振興プロジェクトの推進(九電・朝倉市・宗像市など)
- ・産学官連携を強化するネットワークの構築

3. 2025年度までの目標 大学発ベンチャーの育成**6. アクションプラン** スタートアップ支援の充実(オープンイノベーションセンターの活用)

- ・大学発ベンチャーの育成

E 社会・地域貢献分野

1. 2025年度までの目標 地域社会の課題解決へ向けた貢献活動の推進**1. アクションプラン** 同窓会楠風会地方本部・支部及び同窓会薫風会と連携した地域貢献プロジェクトの開発

- ・同窓会楠風会地方本部・支部及び同窓会薫風会と連携した地域貢献プロジェクトの推進

2. アクションプラン 地域の課題解決につながるSDGsプロジェクトの推進

- ・SDGsプロジェクトの構築及び推進

3. アクションプラン アジアでのSDGsプロジェクトの推進

- ・アジアでのSDGsプロジェクトの推進

4. アクションプラン 環境に配慮したキャンパスの推進・整備

- ・環境に配慮したキャンパスの推進・整備

5. アクションプラン 学生及び教職員による社会貢献活動の推進

- ・専門性を生かした地域連携事業
- ・学生及び教職員によるボランティア活動の推進

6. アクションプラン 自治体と連携した地域振興活動の推進

- ・産学官の連携による地域振興プロジェクトの推進(九電・朝倉市・宗像市など)

7. アクションプラン 地域貢献活動における情報の一元化と実績の公表

- ・地域貢献活動の情報一元化と実績の公表

2. 2025年度までの目標 本学の施設を活用した地域との交流**8. アクションプラン** 地域と連携した総合防災訓練の実施

- ・地域と連携した総合防災訓練

9. アクションプラン 学生と地域住民や高校生が交流する施設開放の推進

- ・学生と地域住民や高校生が交流する施設開放の推進

10. アクションプラン 地域のスポーツチームとの連携による地域貢献

- ・実業団スポーツチーム及び競技団体との連携によるスポーツ振興

11. アクションプラン 大学内施設の地域住民への積極的な開放

- ・学生および近隣住民から好まれる食育の研究開発と事業への展開
- ・大学内施設の地域住民への積極的な開放
- ・九州産業大学 スポーツフェスタ2022
- ・地域住民及び本学学生・教職員対象 ダイエット（健康増進）・ボディーメイクプログラム
- ・総合機器センター 一般公開

3. 2025年度までの目標 地域に向けた知の発信

12. アクションプラン 生涯学習講座や社会人向けセミナーの充実(卒業生や学外との連携、ICTの活用)

- ・生涯学習講座の充実
- ・地域向け講座（社会人及び小学生対象）の実施
- ・九州経済調査協会と共催の研究報告会の実施（BIZCOLI コラボセミナー）

13. アクションプラン 地域の青少年のための教育の実施

- ・地域密着型大学の子ども理科実験教室

14. アクションプラン 文化芸術活動の推進(伝統文化、アートデザインセンター(仮)の設置等)

- ・文化芸術活動の推進 アートアンドデザインセンター(Center of Art and Design, CAAD[仮])の設置
- ・九州産業大学美術館 主催企画展の実施
- ・九州産業大学美術館 アートキャラバン隊による地域貢献活動

F ダイバーシティ分野

1. 2025年度までの目標 男女共同参画社会を担う学生の育成

1. アクションプラン ダイバーシティに関する教育の拡充

※次年度以降、事業実施予定

2. アクションプラン 男女共同参画の視点に立ったキャリア教育の構築

- ・男女共同参画の視点に立ったキャリア教育の構築

2. 2025年度までの目標 多様な学生への支援

3. アクションプラン 多様な学生に対応した施設の整備(多様性を意識した学生食堂、だれでもトイレ)

- ・だれでも利用しやすいキャンパス環境づくり

4. アクションプラン 多様な学生に対応した相談・支援体制の整備

- ・多様な学生の支援体制の整備と啓蒙活動

5. アクションプラン インクルーシブ教育の実現に向けた支援体制の構築

- ・学生相談室との連携による多様な学生のための相談・支援体制の強化

6. アクションプラン 女子学生の活動支援の充実(女子学生コミュニティ形成の推進)

- ・一般サークルを中心とした課外活動支援の拡充におけるサークル活動の活性化

3. 2025年度までの目標 多様な教職員の参画機会拡大

7. アクションプラン ライフイベント(育児、介護等)に対応した支援の充実

- ・ライフイベント（育児、介護等）に対応した支援の充実

8. アクションプラン 教職員のダイバーシティに関する意識の醸成

- ・ダイバーシティ推進体制の構築・強化
- ・教職員のダイバーシティ意識の醸成

9. アクションプラン 多様な人材の採用・登用・育成

- ・多様な人材の採用・登用・育成

G ブランディング分野

1. 2025年度までの目標 本学ならではのイメージ構築（「もっと意外に。もっと自由に。」）

1. アクションプラン ブランディング評価の把握及び分析

- ・大学の認知度・好感度等の調査・分析

2. アクションプラン ブランドイメージの明確化

- ・九州産業大学芸術学部作品展（九芸展）
- ・イメージの統一性を確保した広報活動の実施

3. アクションプラン ブランドイメージの発信（グッズ、メッセージ、ロゴデザイン）

- ・芸術学部を有する本学のイメージ構築を目指すテレビ番組の放送

2. 2025年度までの目標 産業界や地域への広報・広聴機能の拡充

4. アクションプラン マスメディアへのアプローチの強化

- ・報道関係者との連携強化を目的とした記者懇談会の開催

5. アクションプラン 多様なメディアを活用した効果的な情報の発信

- ・ユーザーの利便性向上を目的とした大学ホームページの見直し
- ・多様な媒体（HP、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、屋外広告関係、SNSなど）を効果的に活用した広報活動

6. アクションプラン 産業界への広聴活動の強化（アドバイザリーボードの活用）

- ・アドバイザリーボードの活用

7. アクションプラン 地域からの意見聴取及び情報収集の強化

- ・地域からの意見聴取及び情報収集の強化

H 経営基盤分野

1. 2025年度までの目標 継続的な組織改革

1. アクションプラン 委員会の統廃合による運営体制のスリム化

- ・各種委員会等の統廃合による運営体制のスリム化及び教員の研究時間の創出

2. アクションプラン 事務組織の見直し

- ・事務組織の見直し

2. 2025年度までの目標 IR機能の強化

3. アクションプラン IR組織の整備

- ・ 教学マネジメントを支えるIR体制の整備及びIR活動の推進

3. 2025年度までの目標 ガバナンスの強化

4. アクションプラン 内部チェック機能の向上及び情報の公開(信頼性・透明性の確保)

- ・ 内部監査の実施

5. アクションプラン 危機管理体制の強化(事業継続性の確保)

- ・ 危機管理体制の強化

6. アクションプラン 中期計画の進捗管理の徹底

- ・ 中期計画及び単年度事業計画の推進

4. 2025年度までの目標 教員組織の充実

7. アクションプラン 中期的な人員計画の策定(事務職員含む)

- ・ 中期的な人員計画の策定(事務職員含む)

8. アクションプラン 教員組織の評価・検証と改善

※次年度以降、事業実施予定

9. アクションプラン 実務家教員の採用の拡大

- ・ 実務家教員採用の拡大

5. 2025年度までの目標 同窓会・卒業生との関係強化

10. アクションプラン 卒業生が生涯に渡り大学とつながるための仕組みづくり

- ・ 卒業生との関係強化による学生、教職員支援事業
- ・ 同窓会の認知度向上を目的とした在学生に対する施策の実施

6. 2025年度までの目標 財政基盤の一層の強化

11. アクションプラン 使途指定型募金及び各研究支援を目的とした寄付金の拡大(寄付金推進体制の強化)

- ・ 九州産業大学テーマ募金(使途指定型募金)等の推進による本学園に対する寄付金の拡大

12. アクションプラン ペーパーレス化の推進

- ・ 電子決済の導入及びペーパーレス化の推進

13. アクションプラン 学園の持続的な発展のための財務体質の強化

- ・ 予決算の乖離を小さくさせる「予算編成」と、将来を展望できる「中期財務計画」の更新

14. アクションプラン 関連会社の健全な経営による福利厚生及び社会貢献の充実

- ・ 学生食堂の集客力アップのための施策実施
- ・ 学生への食生活支援

7. 2025年度までの目標 業務改革・効率化

15. アクションプラン 多様な働き方を推進する業務改革

- ・コロナ禍でのテレワークの継続および多様働き方の支援

16. アクションプラン 電子化の推進 (ICT を活用した事務体制、電子決裁)

- ・電子決済の導入及びペーパーレス化の推進
- ・DX時代に対応した出願から入学手続きまでの一貫したシステムの最適化
- ・ICT を活用した DX 化推進事業

8. 2025年度までの目標 事務職員の能力開発

17. アクションプラン 事務職員の能力開発の実質化と充実 (高度化、多様化する課題への対応)

- ・事務職員の能力開発の実質化と充実 (高度化・多様化する課題への対応)

9. 2025年度までの目標 将来を見据えたキャンパス整備

18. アクションプラン キャンパス将来構想の検討及び計画的実行

- ・キャンパス整備の計画的実行
- ・安心・安全で持続性あるキャンパスの推進整備

19. アクションプラン 防犯・安全・セキュリティの強化

- ・安全・安心カメラの設置及び運用

20. アクションプラン アート&デジタルキャンパスの検討 (教育研究成果の発表)

- ・アート&デジタルキャンパスイベントの実施

中期計画（2021-2030）

中期目標

文理芸融合のグローバル総合大学へ

学校法人中村産業学園 総合企画部 企画課



〒813-8503 福岡市東区松香台二丁目 3-1

Tel 092-673-5505 ✉ kikaku@ml.kyusan-u.ac.jp

HP <https://www.kyusan-u.ac.jp/>